7月中旬は暑かった。たった1週間ではあったが、この期間の30℃超えは久しぶりに経験した。

20歳の時にオーストラリアでは6週間30℃超えで、44℃も経験した。家族はアメリカの砂漠で50℃超えを10日間経験した。なぜか人はその環境にすぐ慣れ、30℃を下回ると涼しさを感じるのだから環境適応性は植物よりも高いのだろうかと思うこともある。だからと言って今年は猛暑だとは思わない。大豆播種が終わった6月上旬から7月頭までは多雨低温の傾向が過去数年続いている。

地球温暖化への意図的な誘導

そのような中、アメリカ第45代トランプ大統領は日本のメディアが言うところの地球温暖化対策の国際条約パリ協定からの離脱を表明した。当たり前の話だ。このパリ協定を抜粋しよう。

〝この協定は、世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1・5℃に抑える努力を追求すること、適応能力を向上させること、資金の流れを低排出で気候に強靱な発展に向けた道筋に適合させること等によって、気候変動の脅威への世界的な対応を強化することを目的とする…〟

よく読むと日本のメディアが言う地球温暖化対策だけとは述べられていない。大切なことは台風、ハリケーン、地域的な大雨、干ばつ、多雪などの気候変動の脅威にどのように対応するかだ。そしてトランプ大統領の**「集めたお金をどのように使うのかが不透明だ」**との主張はもっともだ。

地球温暖化に懐疑的な意見を持ち、「南極の氷は温暖化で増える」を唱えるテレビでおなじみの武田邦彦教授の**「日本が炭酸ガスを1%削減してもその何倍もの炭酸ガスを中国とアメリカが排出しているので京都議定書は無駄であった」**との意見に真実味があると言えるだろう。

長沼だけではなく北海道全体を見ても今年の夏の数週間が暑かったのであって、過去10年を見ると、決して温暖化はしていない。ではどこが暑いのか？　都市であることは間違いない。コンクリートで囲われた東京、名古屋、大阪が暑いのは分かるが、長沼よりも緯度が高い札幌では夏の最高気温は3℃高く、冬の最低気温は10℃も高い。各県庁所在地は暑いが、少し離れたら昔と気温はさほど変わりはない。

ではその責任をなぜメディアは非都市ピーポーの責任にしようとするのだろう。自分たちが学びたくて、稼ぎたくて、住みたくて、金髪ブルーアイとヤリたくて都市に住んでいるのだから、その環境にシッカリと



なじみなさい。

こんなこともあった。2009年12月7日～18日、コペンハーゲンで第15回気候変動枠組条約締約国会議（COP15）が行なわれた。たまたまテレビをつけるとチャンネルはBSのNHKワールドニュースだったと記憶している。出席したアメリカ第44代オバマ大統領は演説の中で「Global Climate Change」という言葉を使ったが、NHKは日本語で「地球温暖化」と訳し、意図的な嘘を感じた。なぜあえて日本国民にウソ、デマ、間違った情報を伝えるのか？**温暖化は気候変動の一部であってすべてではない**、と私ごときに言わせるな。

日本人は所詮こんな程度のピーポーなのよ！

トランプ大統領はこうも言っている。「フェイク・ニュース・CNN」。私もそう思う。01年2月10日にアメリカ・LAにいた。テレビではハワイ・オアフ島沖でアメリカ海軍の原子力潜水艦と愛媛県立宇和島水産高等学校の練習船「えひめ丸」が衝突して教員5名、生徒4名が事故の犠牲になった。

映し出されたCNN画面を見ると〝EHIME MARU〟を強調して、画像的に縦横のバランスがおかしいことに気付いた。これでは漁船がホノルル沖合まで漁に来たイメージであった。救出されたクルーは木の下に集まり、ブランケットを羽織って、一部の者はタバコを吸っていた。まるでボートピープル並みの扱いだ。難民でも移民でもなく、**遭難事故の犠牲者であることを避ける扱いに憤慨した**。その後日本とフランスで見たテレビでは〝Fishery High School〟と正確に表示されていた。

おかしなことは続いた。アメリカのテレビを朝から夜中まで見て日本のローカルニュースが放送されることはまずありえない。なぜか、えひめ丸事故の時は二つの日本のローカルニュースが放送された。一つは旭川のスキー場では犬がゲレンデを滑走しているシーンがあり、男女のキャスターが大笑いしていた。CMが入り、今度は東京発のニュースだった。キャスター二人は大笑いしながらこう言った「東京でもチンパンジーが自動販売機でジュースを買うことが出来ます」。まるでハリウッド映画〝猿の惑星〟でオランウータン（白人）はチンパンジー（日本人）よりも賢いんだと言っているのと同じだ。ただゴリラ（原始人）よりもマシだ、などと蔑む精神状態に陥る必要はない。

アメリカ国内では、**事故の当事者であるアメリカ海軍は悪い！とは間違っても言えない**ので、テレビを使い、日本人は所詮こんな程度のピーポーなのよ！とイメージ操作しているのがありありとカモシ出されていた。

特にCNNはアメリカで放送される内容とヨーロッパ、アジアで放送される内容に違いがあると感じた。アメリカでこうなのだから、英語は出来てもイングリッシュが出来ない国民に海外の情報をメディア操作することなど簡単なことなのだろう。確かに人をダマすよりも、ダマされる方が簡単で、被害者意識を持てるので他人と接する場合、悲劇のヒーロー扱いされるのかもしれない。

アメリカは嫌いだが、アメリカの恩恵は受けたい

さて、トランプ大統領に話を戻そう。ワシントンに入り、大統領になっても日本メディアの批判はなぜか止まらない。トランプ大統領はメキシコとの国境に壁を作ると公約しただけで、不法移民が半分になったと言う。素晴らしいコスト・パフォーマンスだろう。

こんなこともやった。イスラム教徒がほとんどのシリア、イラン、リビア、ソマリア、スーダン、イエメンの6カ国の市民を対象に90日間の入国禁止、すべての難民受け入れを120日間停止する大統領令を出した。そのとたん日本メディアは〝アメリカの多様性〟を危惧すると言い出す。ハンカクサイ（バカらしい）連中だ。

お前らアメリカ嫌いなのに、急にアメリカの多様性に何を求めると言うのか、その前に日本が移民に多様性を打ち出したことがあるのか？アメリカが移民にどうするかはアメリカの勝手だろ？ そんな中、入国させてくれないかもしれないのにトボケタ顔してアメリカに行こうとする先ほどの6カ国の連中もどうかしている。

ただアメリカの国の成り立ちを考えた場合、白人だけが簡単に入国出来たわけではない。ある時代、移民の多くはヨーロッパから来てニューヨーク・エリス島で身体検査を受け、伝染病、目の病気、身体障がい者はアメリカに入国できなかったのも事実だ。

金髪・ブルーアイとヤレないものだからアメリカ批判は正当なのか？だったら日本人にもっと肉を食べさせ、緯度の高い東北から北に文化圏をつくり、目の色と肌の色を10世代くらいかけて変えたら良いじゃないか。などと言えるのはヒール・ミヤイ様だけか。